

補助金の適正化に係る外部評価

9月19日 (別紙)

Aグループ(高年福祉課・経済振興課)

No.	補助名	補助金に関する意見	その他意見	判定
1	高年齢者就業機会確保事業費補助金	・シルバー人材センターの登録者(会員)は、暴力団関係の確認をしており、会員規程にも記載しているが、要綱の対象者に関する欄に記載がないため要綱の改善が必要。	・成果指標は「シルバー人材センターの会員数」であるが、休眠登録者(会員)もいることや、雇用や人材不足等の社会情勢を踏まえ、「マッチング数」、「受注数」を指標とする方が適切ではないか。指標の再考をしてほしいか。	改正
2	商工業振興対策事業補助金	・市内の商工業の振興には必要な補助制度である。前回評価時に指摘のあった項目は、補助要綱の改正が行われている。	・成果指標は「会員数」であるが、「会員数」では自然減があり、「新規会員数」とするのはどうか。 ・商工会4町合併等により、隔々まで支援が行き届いていないところがある。 ・特性ある魅力的な支援の在り方として、朝来市らしさ、支援のオリジナリティを求めてはどうか。 ・移住者への創業・就業・支援に対し商工会の役割は重要である。 ・KOBAとの連携を図られたい。	継続

Bグループ(防災安全課)

No.	補助名	補助金に関する意見	その他意見	判定
1	朝来市交通安全協会補助金	・現在は事業費補助だが、交通安全協会が必要な団体で、かつ運営に苦慮されているのなら、団体運営補助に切り替えることも理解できる。一方で、現在の事業費補助のまま、補助率を2分の1から4分の3又は80%に上げることも考えられるのでは。	・団体側に内部改善を求めていくことが必要。収入を増やすために企業協賛を集める仕組みや、会費を払っていただけるような制度の構築を、協会側に働きかけていく必要がある。	改正
2	朝来防犯協会補助金	・補助対象経費や要件設定により、団体に対して効率的な運営を促すよう、要綱の中身を工夫するべき。	・市側のみが運営費に対して支出しているのに対し、警察の影響力が強すぎるのでは。・今年から積極的に警察へのコミットをされるようになったことはよいこと。・警察の支援をする団体なのに、警察が事務所の施設使用料をとるのはどうなのか。・人件費は自家用自動車協会など他の団体と案分しているようだが、決算書上わかりにくい。・自家用自動車協会との事業費のシェアリングを効率的にしていける必要がある。・コストパフォーマンスは必要。・事務のやり方や団体のイメージを改善してもらうことは必要では。・組織としても統廃合を考えるべき。	改正